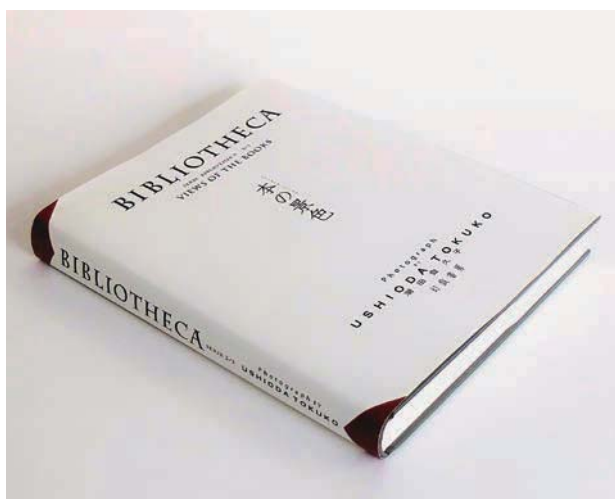


潮田登久子氏：写真集「本の景色 BIBLIOTHECA」が 第37回土門拳賞を受賞

株式会社ライブアートブックス(大伸社グループ)が
プリンティングディレクション、印刷・製本を担当

第37回土門拳賞が発表され、写真家 潮田登久子(うしおだ・とくこ)氏が
選ばれました。

受賞の対象作品は写真集「本の景色 BIBLIOTHECA」(発行・ウシマオダ/
発売・幻戯書房)印刷・製本、プリンティングディレクションを、ライブアートブックス
が担当いたしました。



土門拳賞とは：日本の主要な写真賞の一つ。

土門拳の業績を記念して毎日新聞社の創刊110周年
記念事業として1981年に制定された。

受賞対象は、プロ・アマチュアは問わず前年1月から
12月までの間に作品(写真集、写真展など)を発表
し、優れた成果を上げた中堅の写真家とする。

発表は3月下旬の毎日新聞紙上で行い、「サンデー
毎日」(4月上旬発売号)で作品を紹介する。

木村伊兵衛写真賞が「写真界の芥川賞」といわれる
のに対して、土門拳賞は「写真界の直木賞」と形容さ
れることもある。

潮田登久子氏 受賞作品集「本の景色 BIBLIOTHECA」 解説：

受賞作は、長い時間を経て使い込まれた古書の不思議な佇まいに魅了され20年ほど
前からオブジェとして本を撮り始めた作品。

その本のもつ造形的美しさや経年変化がもたらす表情、時間的背景を写しとった美しい
モノクロの写真群はまるで本のポートレートのようにその存在を照らす。

ヨーロッパの祈祷書、図書館の蔵書、出版社の編集室、個人宅の本などそれぞれの
場所で自然光のみで撮影されている。

—
なお、土門拳賞の授賞式は4月9日(火) 如水会館(東京都千代田区一ツ橋)にて執り
行われ、4月10日より、東京・新宿のニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1にて、
5月24日から大阪・ニコンプラザ大阪 THE GALLERYにて受賞作品展が開催されます。